（人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針に則る情報公開）

このたび以下の研究を実施いたします。**本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。**

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合や個人情報の開示や個人情報の利用目的についての通知をご希望の場合も問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

【研究計画名】 新規タウオパチー治療剤開発のためのモデル作製および薬効評価（承認番号 A2022-046）

【研究責任者】 国立精神・神経医療研究センター病院 臨床検査部 高尾 昌樹

【本研究の目的及び意義】

タウオパチーと呼ばれる神経疾患では、脳神経系にタウの蓄積が見られ病気の進行ともに広がっていきます。これは、タウが細胞間を移動（伝播）し移動先の細胞で再び凝集体の形成を誘導するために起こると考えられています。従って、タウの凝集あるいは細胞間の伝播の阻害は、新規タウオパチー治療メカニズムとして注目されています。本研究では、より臨床像に近いタウオパチー病態を再現できる疾患モデルとして、タウオパチー脳組織から調製した可溶性もしくは不溶性画分を凝集核として研究用動物（マウス）の脳に注入した動物モデルの構築を行います。そして、構築したモデルを使用して、タウオパチー治療薬候補物質の薬効評価を行います。

解析業務の一部は、エーザイ株式会社から株式会社サンプラネットに委託されます。エーザイ株式会社、株式会社サンプラネットともに、個人に関わる情報は一切提供されることはございません。

【本研究の実施方法及び参加いただく期間】

対象となる方

2009年4月以降2022年3月までに国立精神・神経医療研究センター病院で病理解剖され、NCNPブレインバンクでの剖検検体の保管および研究使用に関して同意された方のうち、死後の病理診断により大脳皮質基底核変性であると判定された方。

利用する試料・情報等

試料: 大脳皮質基底核変性症の凍結脳組織

情報等: 年齢、性別、死後時間、診断名、診断情報、病理解析結果

研究期間

研究実施許可受領後より2027年 3月31日まで

国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター 理事長
〒 187-8551 東京都小平市小川東町4－1－1 Tel:042-341-2711（代表）

作成年月日： 2026年 7月1日 第5.0版

【共同研究機関】

エーザイ株式会社　　研究責任者 田口良太

〇問い合わせ窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
所属 病院 臨床検査部 病理検査室　氏名 高尾昌樹
電話番号 042－341－2711（代表）

〇苦情窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター倫理委員会事務局
e-mail：ml_rinrijimu※ncnp.go.jp（「※」を「＠」に変更ください。）

※お問い合わせの際は、承認番号 A2022-046 をお知らせください。